

# ISDでよく使われる学校関連の用語集

用語	意味
504プラン	504プランは、生徒が無償かつ適切な公教育を受けるために必要であると学校区が判断する教育支援および関連サービス計画を記載した書面です。難聴、不安障害、糖尿病、喘息、重度のアレルギーなど、健康上の懸念がある生徒は必要な支援と配慮を確実に受けられるよう、この情報をスクールカウンセラーに伝える必要があります。
Accommodation	学習を向上させるために生徒の学習計画または日々のスケジュールに加えられる変更
ACT	American College Testing。大学出願用の標準テストの一つ。同種のテストにSATがあります。通常11年生の冬か春、または12年生の秋に受験します。SATとACTの両方を受験し、良い方のスコアを大学に提出する学生もいます。 ( <a href="https://www.act.org/">https://www.act.org/</a> )
ISD就労体験ACTプログラム	ISDのAcademy for Community Transition(ACT)は、18～21歳の障害を持つ若者が地域の就労体験に参加し、社会、職業、生活面のスキルを磨くことができるようトレーニングとサポートを提供するプログラムです。
ADD	Attention Deficit Disorder（注意欠陥障害）
ADHD	Attention Deficit and Hyperactivity Disorder（注意欠陥および多動性障害）
Angel Program	困窮している学生に食料やその他物資を供給するPTA/PTSA主催のプログラム
AP：学校職員	Assistant Principal（校長補佐）
APコース	Advanced Placementコース。高校で受講できる大学基礎レベルのコースで、5月に実施される全国試験のスコアに応じて大学の単位を取得できます。ISD内3つの高校はそれぞれ異なるAPコースを提供しています。
ASB	Associated Student Body（学生自治会）は、ホームカミング、ダンス、スピリットウィーク、放課後のクラブなどを運営する学校運営の生徒組織です。
BASC	Before After School Care（学童保育）は、K～5年生の児童が対象のプログラムです。ISD内のエレメンタリー全16校で実施されています。BASCは現在エレメンタリーと中学生を対象にしたサマーキャンプも開催しています。
BC	Bellevue Collegeは、11と12年生が高校在籍中に大学の単位を同時取得できるRunning Startプログラムが受講できる地元のコミュニティカレッジです。
BOD	学校区のBoard of Directors（理事会）は、現在5名の地域代表理事によって構成されています。
Bond	（債券＝建物）ワシントン州は公立学校の定期的な建設や維持に資金を提供していません。そのための費用を確保するには地元の有権者による選挙で学校債の承認を行う必要があります。
Booster Clubs	保護者団体Booster ClubsはASBと提携し、高校生の課外活動（放課後スポーツやクラブ活動など）を支援しています。学校スポーツ観戦時の売店やロゴ入りウェアの販売を通じて資金集めも行っています。
Canvas	ISD全体での指導と学習を促進するために使用される6～12年生向け学習管理システム。
CCC	College and Career Centerは卒業後の進路のリソースを提供しています。保護者と学生はCCCのスタッフと進路相談の予約を取ることができます。
Certificated	教師、カウンセラー、校長、副校長など、Certificatedの職員は教育者資格を有しています。
CCSS Common Core State Standards	K～12年生向けの数学と英語の全国共通学習基準目標。これらの目標は、将来の進路やキャリア構築の準備に役立ちます。
Chaperone	校外学習やスポーツイベントなどの付き添い係。保護者ボランティアが務めることもあります。
Classified	教育者資格を有していない職員（例：準専門職、バス運転手、秘書、看護師）

<b>Clever</b>	CleverはK～5年生向けのシングルサインオンポータル（SSO）です。生徒はさまざまなカリキュラムツールやテクノロジーリソースに1回のログインでアクセスできます。
<b>Credit（単位）</b>	1年間のコースは1単位、1学期だけのコースは0.5単位です。ワシントン州の公立高校を卒業するには24単位が必要です。
<b>CTE</b>	高校のCareer and Technical Education（職業技術教育）コース。卒業には、2学期分のCTEを修了する必要があります。生徒はCTEコースの大学の単位と高校の単位を申請することができます。
<b>Dyslexia, Dysgraphia, Dyscalculia</b>	Dyslexia（失読症）読解力に影響を与えます。 Dysgraphia（書字障害）細かい運動能力に影響を与えます。 Dyscalculia（算数障害）数学スキルに影響を与えます。
<b>ELA</b>	English Language Arts（国語としての英語）
<b>EVP</b>	Enrollment Verification Process（在籍確認手続き）は、現在ISDに在籍している生徒が新年度も継続して在籍することを確認する手続きです。通常8月上旬に行われます。
<b>Extracurricular</b>	放課後に参加できる課外活動です。追加費用がかかる場合があります。
<b>FACE</b>	Family And Community Engagementは、学生の家族と地域社会をサポートおよび支援するためのPTA/PTSАによる委員会です。
<b>FAPE</b>	Free Appropriate Public Education Actは障害のある児童に対する法律で、無償で適切な公教育を受ける権利を保証しています。
<b>FLASH</b>	ISDでは5年生から始まる保健授業の一環でFamily Life and Sexual Healthという学年に応じた性教育を行っています。保護者は事前に資料を確認して生徒に受講させないという選択もできます。
<b>Freshman/Sophomore/Junior/Senior</b>	高校各学年の別称: Freshman（9年生）、Sophomore（10年生）、Junior（11年生）、Senior（12年生）
<b>FT or F/T or FTE</b>	Full-Time Employee（フルタイム）教員および職員
<b>Fundraiser</b>	学校はスポーツ、芸術、音楽、など追加プログラムに必要な資金を調達するためのFundraiser（募金活動）を行います。
<b>GPA</b>	Grade Point Average（成績平均点）は、成績の累積数値スコアの平均です。ISDでは成績順ランキングは行っていません。
<b>Homecoming Week</b>	学校を盛り上げるためのイベントが盛りだくさんの一週間。金曜日のフットボールのホームゲームと土曜日のホームカミングダンスで締めくくられます。通常9月か10月に開催されます。
<b>HSBP</b>	High School and Beyond Planと呼ばれる高校卒業後の進路プラン。作成は卒業必須事項で、主に授業時間中に作成します。College and Careerセンターが運営しています。
<b>Highly Capable Student</b>	認知能力テストと達成度テストの両方で常に上位3～5%のスコアを獲得する高潜在能力を有する生徒を意味します。スコアは通常97パーセントイル以上です。
<b>IDEA</b>	Individuals with Disabilities Education Act（個別障害者教育法）
<b>IEP Individual Education Programs</b>	Individual Education Programs（個別教育プログラム）は、障害を持つ生徒個人に合わせた教育計画で、少なくとも年に1回書面で作成されます。
<b>IFCB</b>	Issaquah Food & Clothing Bank、地域のフードバンク
<b>ISD</b>	Issaquah School District（Issaquah学校区）
<b>ISF</b>	Issaquah Schools Foundation（Issaquah学校財団）
<b>JV</b>	Junior Varsityチームは、通常新入生がVarsity（選抜）チームへ進む前に所属するいわゆる2軍スポーツチームです。
<b>LAP</b>	<b>Learning Assistance Program</b> は、識字能力の基準を満たしていない生徒に集中的な支援を提供する事を目的としたISDのプログラムです。このプログラムは、これらの生徒の学習を加速させ、速やかに基準に達することができるようにすることを目標としています。
<b>LEVY</b>	（課徴金＝学習）課徴金は、州が資金を出さない学校授業や教育のニーズを地域が直接賄うためのもので、地元の有権者から投票で承認される必要があります。

<b>LRC</b> Learning Resource Classroom	Learning Resource Classroomは、特別支援教育の対象となる生徒が担当教師から指導を受ける教室です。生徒はIEP（個別教育計画）に応じて一日の一部または全日、この教室に通う場合があります。
<b>LRC II</b>	中度から重度の障害を持つ生徒は、あらゆる分野において特別に設計された指導を受けます。一般教育の授業への参加はIEP（個別教育計画）で指定されたとおりに行われます。
<b>MERLIN</b>	Mind Education Right Left Integrationクラスは、高い潜在能力を有する3～5年生向けにApollo ElementaryとEndeavour Elementaryで行われているフルタイムプログラムです。一般教育クラスと同じカリキュラムに基づきながら、より深く掘り下げた内容、より高度な思考力と行動力を重視した、充実したアカデミックプログラムを提供しています。授業は速いペースで進み、生徒の自主性と学習意欲を高め、一部の科目では加速学習も提供しています。
<b>ML</b>	Multilingual Learning（多言語学習）
<b>MTSS</b> Multi-Tier Systems of Support	Multi-Tier Systems of Support（多層サポートシステム）は、ISDが生徒の行動と学業面の両方のニーズを特定するために用いているシステムモデルです。目標は生徒のニーズを積極的に特定し、対応しながら様々なレベルの支援を提供すること、そして社会情緒面の充実を促進することです。各学校の教師チームが毎年特定の時期に一連の測定結果をレビューし、早期介入の必要がある生徒を特定します。
<b>NGSS</b> Next Generation Science Standards	Next Generation Science Standards（次世代科学標準）は、理工系を学ぶK～12年生を対象とした国が定めた目標です。これらの目標は、生徒の進学やキャリア形成の準備に役立ちます。
<b>OSPI</b>	OSPI Office of Superintendent of Public Instruction（教育長事務局）は、ワシントン州の公教育を担当する政府機関です。OSPIは収集したデータを基に各学校の評価も公開しています。 <a href="https://www.k12.wa.us">https://www.k12.wa.us</a>
<b>Paraprofessional or Para</b>	ParaprofessionalsまたはParaと呼ばれる教育チームの貴重なメンバーです。校庭、横断歩道、カフェテリア、図書館、休憩室の監視など学区内の様々な役割において重要なサポートを提供します。必要に応じて事務サポートも提供します。また、教諭や特別支援教育教諭によるグループ指導や個別指導のサポートも行います。
<b>PE</b> Physical Education	Physical Education（体育）
<b>PEP</b>	Primary Enrichment Program（初等教育強化プログラム）は、各学校で実施されている高い潜在能力を持つK～2年生を対象としたパートタイムプログラムです。PEPはプルアウト型、プッシュイン型、教室内での個別指導などが含まれる場合があります。SAGE/PEPの教師がサポートを提供します。生徒は高度な認知能力を必要とする特別な強化プロジェクトに取り組みます。キンダーは週1回30分、1、2年生は1時間の指導が行われます。
<b>PSAT</b>	Preliminary Standardized Achievement Testは、SAT試験の練習のようなものなので卒業には必須ではありませんが、10、11年生が秋学期の授業時間中に受験します。
<b>PTSA / PTA</b> Parent Teacher (Student) Association	Parent Teacher(Student)Associationは、生徒の学習を成功に導くためにサポートする保護者団体です。
<b>SAGE</b>	Special Approach to Gifted Educationプログラム。各学校で実施されているギフテッド教育への特別なアプローチを行う3～5年生向けのプログラムです。SAGEの生徒は問題解決能力、創造的思考力、プロセス思考力の育成と強化を目的とした、やりがいのあるアクティビティを体験します。また、コラボレーション、学ぶ事への自信、責任感、そして質の高い学習といった分野における社会情動的スキルも育成します。SAGE MathとSAGE Readingは週1～2時間実施されます。
<b>SAT</b>	Standardized Achievement Test。大学出願のための標準テストの一つで、同種のテストにACTがあります。通常11年生の冬か春、または12年生の秋に受験します。SATとACTの両方を受験し、良い方のスコアを大学に提出する学生もいます。
<b>SBA</b>	Smart Balanced Assessmentは、ワシントン州が実施するELA（国語としての英語）と数学の学年末テストです。

<b>SBHC</b>	School Based Health Services健康カウンセラー。ISDの生徒は誰でもSBHCに相談することができます。13歳未満の生徒は保護者の許可が必要ですが、13歳以上は州の法律により保護者の許可は必要ありません。
<b>Seesaw</b>	Seesawは、エレメンタリーの生徒が学習内容をリアルタイムで記録し、振り返るためのクリエイティブなツールを提供します。使い方は簡単で、生徒の課題を一か所に集めて家族と共有することも簡単です。SeesawはCLEVERを通じてアクセスできます。
<b>Special Education</b>	Special Education（特別支援教育）は、障害を持つ生徒に特別に設計された指導を提供します。
<b>SEL</b>	Social and Emotional Learningは生徒にとって非常に重要な社会性や情緒面の学びを提供する学習法です。
<b>Skyward</b>	生徒の出席、授業、成績、通知表などにアクセスするためのISDファミリーアクセスポータル
<b>Standards-Based Grading</b>	標準に基づいた評価は、Common Coreを基準とした成績評価です。生徒は基準を満たすことが求められ、教師は学年レベルの基準の指導と、生徒が学年レベルの基準を満たせるよう支援することに重点を置きます。
<b>STEM/STEAM</b>	STEM: Science、Technology、Engineering、Mathematics STEAM: Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics
<b>Title 1 Program</b>	1965年に制定された連邦教育法Elementary and Secondary Education Actにより、対象となる学校および学校区に対し州が運営する複数のプログラムを認可しています。現在ではESSA（Every Student Succeeds Act）として知られるこの法律は、学習に困難を抱える生徒を支援するためのサービスと介入を提供することで、学校や学校区間における生徒の成績格差を是正することを目的としています。
<b>Varsity</b>	学校が行う放課後スポーツの選抜チーム。例えば、Varsity Footballには最も経験豊富な選手が所属します。
<b>VIS</b>	Volunteers for Issaquah Schoolsは、住民投票による債券と課徴金が認可されるよう広報活動を行います。
<b>VOICE Mentors</b>	学生の学業、社会性、生活スキルを個別に指導するボランティアメンターの呼び名
<b>WAKids</b>	WAKIDS は、キンダー入学を控えたご家庭を義務教育のシステムへ暖かく迎え入れるために設計された州全体のプログラムです。
<b>WANIC</b>	Washington Network Innovative Careersは、ISDおよび他学校区で受講できるオプションのCTEクラスの総称です。
<b>WCAS</b>	Washington Comprehensive Assessment in Scienceは、州全体で実施される科学テストです。
<b>WIDA</b>	World-Class Instructional Design and Assessmentは、英語が母語でないEL（英語学習者）のK～12年生を対象に、言語発達リソースと英語能力評価を提供します。
<b>Xello</b>	Xelloは、高校卒業要件High School and Beyond Planを満たすために6年生から生徒が使用する学校区提供のオンラインプログラムです。キャリア構築、高校卒業後の様々な機会、そして幅広い進学の実選択肢を探求できます。

**\*\*この便利な用語集の作成にご協力いただいたLorna Gilmore、Cortney Eldridge両氏に感謝いたします。**  
このリストがISDのご家族の皆様にとって役立つリソースとなることを願っております。本当にありがとうございました！

